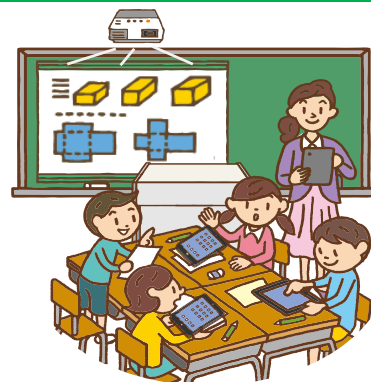
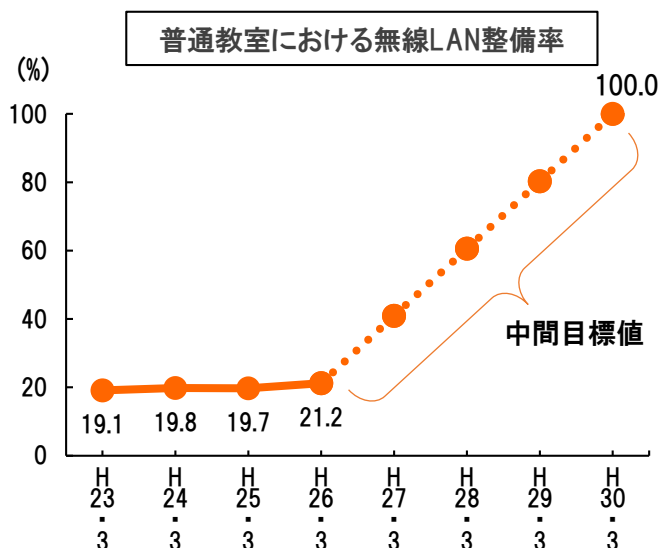


【タブレットの利用に必要な無線LAN整備】

タブレット端末を利用するときには、無線LANの整備が欠かせません。しかし、無線LANに関する、さまざまなトラブルが発生しているという学校現場の声もお聞きます。今回は、学校における無線LAN整備の現状と検討時に使えるチェックリストを作成しました。ぜひご活用ください。



普通教室における無線LAN整備の現状



【平成29年度までの整備目標】

普通教室における無線LAN整備率=100%

『第2期教育振興基本計画』(文部科学省)より

文科省の調査によると、全国の普通教室の無線LANの整備率は、平成26年3月時点で21.2%となりました。

右のグラフのように、急速に整備を進めていかないと目標達成は難しい現状にあります。

参考:「ICT教育環境整備ハンドブック」2015年版/JAPET&CEC

無線LANの整備で、こんな心配はありませんか。

無線アクセスポイントはどこに設置しよう？

クラス全員がつながるのか不安。

普通教室以外にも設置したほうがいい？

セキュリティが心配。



保守やサポートは必要かな。

では、無線LAN整備を検討する際、どんなことに気をつければよいのでしょうか。

裏面をご覧ください

無線LAN整備のチェックリスト

無線LAN整備のときに活用できるチェックリストです。
 まずは、以下の5つのポイントから考えてみてはいかがでしょうか。

ポイント	チェック項目		
① 端末の台数	<input type="checkbox"/>	1教室に40台	授業で動画の閲覧や教材配布を行うことを想定し、同時接続台数や通信速度などを考慮した無線AP(アクセスポイント)を選びましょう。それと合わせて、無線APの台数を検討する必要があります。
	<input type="checkbox"/>	1教室に10台	
	<input type="checkbox"/>	1教室に1台	校務端末を使うことを想定している場合は、「④セキュリティ」のチェック項目をご参照ください。
② 無線APの場所	<input type="checkbox"/>	教室/廊下に常設	接続するための設定作業が不要のため、スムーズに授業が開始できます。
	<input type="checkbox"/>	持ち運び	ケーブルの配線や接続確認などの作業が発生します。作業時間もかかるため、ICT活用へのハードルが上がります。
③ 利用場所	<input type="checkbox"/>	普通教室	授業はもちろんのこと、朝学習など授業以外の活動で活用できます。
	<input type="checkbox"/>	特別教室	特別教室での授業で作成した資料や撮影した動画・写真を、普通教室でも共有し、活用できます。
	<input type="checkbox"/>	体育館	入学式や学芸会など、体育館で行う学校行事でも活用できます。災害時には、避難所として情報発信・共有ができるようになります。
	<input type="checkbox"/>	校庭	運動会など、校庭で行う学校行事でも活用できます。災害時には、避難所として情報発信・共有ができるようになります。
④ セキュリティ	<input type="checkbox"/>	通信の暗号化	暗号化により、盗聴を防ぎます。暗号化方式はWPA2を推奨します。
	<input type="checkbox"/>	不正アクセス対策	ステルス(無線APを自動検知させない)機能やMACアドレス認証、SSIDの設定で、外部からの不正なアクセスを防ぎます。
	<input type="checkbox"/>	校務端末の利用	校務端末を使うときは、さらに強固なセキュリティ対策が必要となります。
⑤ 保守サポート	<input type="checkbox"/>	保守なし	費用は安価ですが、障害には対応できません。
	<input type="checkbox"/>	集中管理	無線APの状況を現場に行かないで対応できます。 ※コントローラーなどが必要です。
	<input type="checkbox"/>	訪問対応	無線AP以外の障害にも対応できます。

参考:学校の無線LAN導入・運用の手引きVer. 1.00/JAPET&CEC

**無線LANを安定的に利用するために、
 ポイントを絞って検討していくことが大切です。**